

顕微鏡使用上のルール

1. 予約について

- ・ 予約はオンライン予約システムにて行ってください。予約は原則として1週間に3回まで、1回の予約は8時間以内とします。それ以上の予約は光学解析室までご連絡ください。また、20日以上先の予約は予約システムではできませんので光学解析室までご連絡ください。
- ・ 長時間のタイムラプスは、できるだけ夜間（17:00～）あるいは週末に行っていただくようお願いいたします。特に混み合っている装置についてはご協力をお願いいたします。
- ・ 予約状況は、以下の URL にアクセスしてご確認ください。

明大寺地区設置機器：http://mtroom.nibb.ac.jp/mscope/mdj/reserve_table.php

山手地区設置機器：http://mtroom.nibb.ac.jp/mscope/ymt/reserve_table.php

ただし、顕微鏡制御パソコンはネットワークに接続していませんので、ご自分のパソコンで予約状況をチェックするようにしてください。また、以下のパソコンはネットワークに接続していますので、そちらからも予約状況をご確認いただけます。

- ・ 明大寺地区・B36 室：予約閲覧用 PC、画像解析用 PC
- ・ 明大寺地区・B66 室：予約閲覧用 PC
- ・ 山手地区・3 号館 5 階東 大型プリンタ用 PC、二コン顕微鏡室内画像解析用 PC

2. 使用記録について

機器を使用される際は、使用簿へのご記入をお願いします。レーザーや水銀ランプ、炭酸ガスなどを使用された場合は、使用時間を正確にご記入ください。消耗品発注の目安、予算申請などに必要なデータとなります。また、装置の不調に気が付かれた場合は、コメント欄にできるだけ詳細にご記入いただくとともに、光学解析室へご報告いただきますようお願いいたします。

3. データの保存について

- ・ データはハードディスク内の user フォルダに保存してください。

ただし各システムのハードディスク容量の関係上、ユーザーへの連絡なしにデータの削除を行う可能性がありますのでご注意ください。原則として使用の2週間以内にデータファイルをお持ち帰りください。事情があって一時的に保存しておきたいデータがある場合はその限りではございませんので、光学解析室へご相談ください。

- ・ データのやり取りに USB メモリや外付け HD を使用される際は、あらかじめご自分の研究室のパソコンでウイルスチェックをおこない、ウイルス感染していないことを確認した上で接続してください。

4. レーザー、水銀ランプの取扱いについて

レーザーは非常に高価です。短時間の ON/OFF はレーザーの寿命を縮めます。1 時間程度席を離れる場合、あるいは次の予約が 1 時間以内に入っている場合はレーザーを付けたままにしておいてください。その際、次のユーザーにレーザーが付けたままであることを連絡してください。

- ・水銀ランプを点灯後 30 分間は消灯しないでください。また再点灯する際はランプハウスが十分冷えてから（目安：消灯後 30 分経過）点灯してください。レーザー同様、1 時間以内に次の予約が入っている場合は、付けたままにして、次のユーザーへその旨連絡するようにしてください。また、長時間タイムラプスの際など、1 時間以上水銀ランプを使用しない場合はランプを消灯してください。

5. 対物レンズの取扱いについて

- ・油浸レンズには備え付けのオイルを使用して下さい。オイルの使用量は 1 滴で十分です。特に倒立顕微鏡の場合は、多過ぎると、流れ落ちてレンズの内部や機器の内部を汚染する恐れがあるので注意して下さい。オイルを使用した場合はまずレンズティッシュでオイルを拭き取り、その後備え付けのレンズクリーナーをレンズティッシュに含ませ、内側から外側へ優しく拭き取るようにしてクリーニングして下さい。

- ・油浸レンズにオイルを付けたままレボルバーを回すと、その他のレンズにもオイルが付くことがあります（特に 20 倍以上のレンズ）。その場合は、他のレンズもクリーニングしてください。

- ・水浸レンズもレンズクリーナーでクリーニングしてください。

6. 技術情報について

光学解析室では顕微鏡の使い方や画像解析についてのノウハウを蓄積し、研究者間での技術情報の橋渡しをしていきたいと考えています。データの機密に関しては細心の注意を払いますので、オープンにしてもよい技術的な情報を教えていただくと大変助かります。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

7. 謝辞への記載と論文提出のお願い

光学解析室の機器を利用して得られた成果を発表される場合には、「謝辞」への記載と共に、発表論文の別刷りや PDF ファイルを光学解析室までご提出いただくようお願いいたします。

謝辞記載例；

- ・ Confocal images were acquired at Spectrography and Bioimaging Facility, NIBB Core Research Facilities.

- ・ We thank Spectrography and Bioimaging Facility, NIBB Core Research Facilities for technical support.

- ・ Imaging was performed with the equipment maintained by Spectrography and Bioimaging Facility, NIBB Core Research Facilities.

現在ある機器を順調に維持するためや、最先端機器の導入等設備充実・発展のために重要ですので、ご協力をお願いいたします。

8. 遺伝子組換え体と動物の持ち込みについて

光学解析室へ「遺伝子組換え体」または「動物（注：自然科学研究機構ではすべての脊椎動物が動物実験申請の対象となります）」を持ち込む場合は、以下の申請が必要となります。

- ① 実験室申請：実験室がその生物種の使用承認を受けていること（遺伝子組換え体であれば、遺伝子組換え実験室、動物であれば動物実験室）。光学解析室で行います。
- ② 実験計画書申請：実験計画に該当実験室が追加されていること（組換え体であれば「組換え実験計画書」、動物であれば「動物実験計画書」）。基生研および生理研の方は、各研究部門で行ってください。その際、部屋の承認番号等の情報が必要となりますので、HPの実験室申請情報をご確認ください。所外の方は、光学解析室で申請を行いますので、該当する場合は、必要事項をお問い合わせさせていただきます。

以上の点が守られない場合は、使用許可を取り消す場合があります。
ご質問やご要望がございましたら、光学解析室までご連絡ください。

光学解析室責任者：亀井
顕微鏡担当：斎田
E-mail: img@nibb.ac.jp